

2023年度  
活動方針〈案〉

2023年4月21日(金)10時30分開会  
ひと・まち交流館京都 2階 第3会議室

京都家庭文庫地域文庫連絡会

## 2023 年度 年頭のごあいさつ

春の花といえばやはり桜でしょうか。4年振りの桜を愛でながらの酒宴も解禁となり各地で賑わいを増しています。皆さまも楽しまれたでしょうか。

今年度、京庫連の代表をさせていただきます、島谷千織と申します。

京庫連は今年 50 周年を迎えます。その節目に代表をさせていただける幸せを感じるとともに、長い歴史を引き継ぎ、支えてくださっている皆様に感謝の気持ちで一杯です。どうぞよろしくお願い致します。

私が京庫連活動に参加して 20 年余りになります（代表は 3 回目です）。思い返してみても楽しい思い出ばかり……。学習会や講演会でたくさんの方々にご講演していただき勉強させていただきました。そのご縁で今でも活動を支援してくださっている方もいらっしゃいます。本当に感謝申し上げます。

また、毎月一度発行している『京庫連だより』制作の楽しいこと。話に花が咲いて、手が中々進まない（笑）ということも……。その一方で運営委員会では、今後の体制づくりのこと、講演会の企画や名簿のことなど、深い話し合いも行っていきます。50 周年の楽しい企画も考案中ですので、皆さまのご参加をお待ちしております。

これからも”顔の見えるつながり“を大切にしていけたらと思いますので、気楽に活動にご参加ください。“元気です……！”などの近況報告なども大歓迎です。

昨年、お亡くなりになった、松居直氏の著書に『絵本は心のへその緒 赤ちゃんに語りかけるということ』があります。お母さんが子どもへ読み聞かせる絵本はまるで魔法のように子ども心や脳裏に響き、成長過程の礎となります。“絵本の大切さ”をお母さまたちにお伝えしていけるように、また京庫連の楽しい活動のバトンを若い世代の方々に手渡せるように。皆さまと様々な活動を共にしていけたらと思います。

本年度も、どうぞよろしくお願い致します。

2023年度代表 島谷千織



『絵本は心のへその緒-赤ちゃんに語りかけるということ』

松居 直 (著)

日販アイ・ピー・エス 2018

## 【学習部】 担当：太田一子・赤畑千代子・西野利江・山本洋子・杉本ひと美

### ☆花田睦子氏講演会(総会後の講演会)

日時：4月21日(金)13:30～15:00(13:00～受付)

場所：ひとまち交流館京都 2F 第3会議室

参加費：会員無料 会員外 500円

タイトル：『絵本と生きた36年』～今、新たなスタートを切って～

### ☆京庫連50周年記念行事

京庫連は2023年11月に創立50年を迎えます。

それに伴って記念行事を次のように3つ、計画しています。

◎年表に合わせて京庫連の活動を冊子にまとめる。(具体的な形は未定)

◎記念講演会(講師、日時とも未定。みなさんのご意見をお待ちしています)

◎絵本美術館めぐり(日帰り)

10月頃に三重県津市の県立美術館にて、福音館書店「子どものとも」の大規模な原画展が催されます。その原画展の見学に行くのはどうか…という案が出ています。会員の皆さまのご意見をお待ちしています。

### ☆クラフト・ミニ

今年も2回予定しています。お楽しみに。

## 【図書館部・学校図書館部】 担当：後藤由美子・岸野明美

☆「京都の学校図書館・公共図書館の充実を求めるつどい」実行委員会に参加し、「第11回学校図書館研修会」(日時：6月25日(日)場所：ラポール京都)や、「第14回つどい」(12月ごろ)の開催に関わる。

☆「図書館友の会けやき」や地域の「図書館を考える会」と情報交換する。

☆「大阪国際児童文学館」の役割りへの理解や利用を広めるための支援を続ける。

☆公共図書館との意見交換の場を考える。

☆京都府・京都市の教育委員会の学校図書館担当の方々と懇談する機会を考える。

☆電子図書、著作権など、新しい図書館事情についての学習や、近隣のあたらしい図書館の見学なども考えてみたい。

## 【平和文庫・ブックリスト】

担当：後藤由美子・千代田眞美子・片井祥子、 会計：池村奈津子

### ☆平和文庫の開庫

例年通り、第2火曜日、第4水曜日 午後2時～4時

### ☆トーハンブックフェアへの本の推薦

7月23（日）～25日（火）に開催される子どもの本のブックフェアに協力。  
近刊の戦争と平和を考える子どもの本を推薦する。

（市庫連と協力して専用棚の選書を行う）

会場：みやこめっせ

### ☆第43回「平和のための京都の戦争展」への参加

一昨年、昨年に引き続き、立命館大学国際平和ミュージアムは、改修中のため使用できない。今年も会場を変えて開催される。

期間 8月1日（火）～6日（日）9：30～16：30

会場 長浜バイオ大学京都キャンパス

\*京庫連は、今年もサテライト会場として、ひと・まち交流館京都 1階の作品展示コーナーで、「戦争と平和の子どもの本展」を開催する。

期間 7月28日（金）～30日（日）10：00～17：00

30日（日）午後には関連イベントを行う。第3会議室

### ☆2021～2022に出版された本のリストアップと、読書会

引き続きリストアップを継続。

気になったテーマで読書会も継続。

また、2022年度までの読書会のまとめを形にできるように、編集にも取り組む。

### ☆平和文庫維持の呼びかけ

積極的に維持のためのカンパを呼びかける。一口500円、何口でも。

また、今後の場所についても考えていく。

平和文庫の場所でのイベントも考え、来てもらえる機会を増やす。

## 【編集部】

担当：日向禮子・太田一子・西谷典子

☆本年度も「京庫連だより」を5月から3月まで(8月休)毎月、合計年10回発行する予定です。文庫活動などの様子の寄稿、ご意見やご希望、情報など、どうぞお寄せください。お待ちしております。

☆印刷・発送は、主にひと・まち交流館3階のボランティアコーナーを使わせていただいて、10時から3時頃まで作業しています。会員の皆様どなたでも参加していただいて、意見交換の場としてもお待ちしております。

## 【京庫連ホームページ】

担当：池村奈津子



<http://kyotobunkoren2016.web.fc2.com/index.html>

### 〈項目〉

【行事予定・情報】【京庫連だより】【京庫連とは】【京庫連の活動】【出版物】  
【加盟文庫】【平和文庫】【リンク】【京庫連規約】【入会について】  
【京庫連 2005 年～2016 年のホームページ】【運営委員のみ】

### 〈内容〉

【行事予定・情報】京庫連、市庫連、文庫関連の他団体行事予定  
【京庫連だより】2017年から最新号まで、各号の目次（内容は見られません）  
【京庫連とは】京庫連の内容紹介  
【京庫連の活動】年度の活動方針  
【加盟文庫】加盟文庫名・個人会員数・京庫連入会フォーム  
【出版物】京庫連が出版してきた資料・本などの紹介

京庫連だよりの付録（絵本・工作）は内容を見ることができます

【京庫連平和文庫】平和文庫所蔵のリスト

3.11以降に出版された戦争と平和を考える本のリスト

網羅出来ていませんので、関連図書があればご連絡下さい。

(エクセルファイルで取り込みも可能)

【リンク】文庫関連団体・図書館・子どもの本関連・出版社・書店・関連施設・グループなど。

利用と記録保存を目的に作成してきました。次年度に向けて、HPへ掲載希望の内容など、ご要望がありましたら、以下にご連絡をお願いします。

連絡先 [kyotobunkoren@yahoo.co.jp](mailto:kyotobunkoren@yahoo.co.jp)

2023 年度 京庫連運営委員名簿

代表	島谷千織	たなぼた文庫
副代表	杉本ひと美	九条子ども文庫
会計・名簿管理	堂腰清美	もみじ文庫
会計監査	三上啓子	えほんと京わらべうたの会 『優女(やしよめ)』
京田辺子ども文庫連絡会	越村文子	風の子文庫
京都市子ども文庫連絡会	後藤由美子	わたぼうし文庫
図書館・学校図書館部	後藤由美子	わたぼうし文庫
	岸野明美	個人会員
学習部	太田一子	其枝なかよし文庫
	赤畑千代子	うさぎ文庫
	西野利江	わたぼうし文庫
	山本洋子	個人会員
	杉本ひと美	九条子ども文庫
ブックリスト・平和文庫部 平和文庫会計	後藤由美子	わたぼうし文庫
	千代田真美子	もみじ文庫
	片井祥子	個人会員
	池村奈津子	個人会員
編集部	西谷典子	個人会員
	太田一子	其枝なかよし文庫
京庫連だより版下	日向禮子	個人会員
ホームページ	池村奈津子	個人会員
特別会計	八田孝子	其枝なかよし文庫
特別会計監査	宝壁由希	個人会員

## 名簿を廃止し組織図の形でお届けすることについて

昨年5月運営委員会で、22年度の名簿の発行について話し合われました。名簿の発行については、世間の廃止への流れ、悪用した様々な事件が報道されていること、運営委員の身近でも不審な話が聞かれることが話題に上りました。しかし運営委員の中には、京庫連の会員の相互の交流をはかるために、今までに名簿が果たしてきた役割の大切さを語る委員もいました。私たちは揺れ動きましたが話し合いの結果、事故を未然に防ぐためにと廃止に踏み切り、「京庫連だより」に廃止のお知らせをいたしました。しかし、それはあまりにも唐突で、廃止のための説明が十分なされていないもので、複数の方からご意見を頂きました。

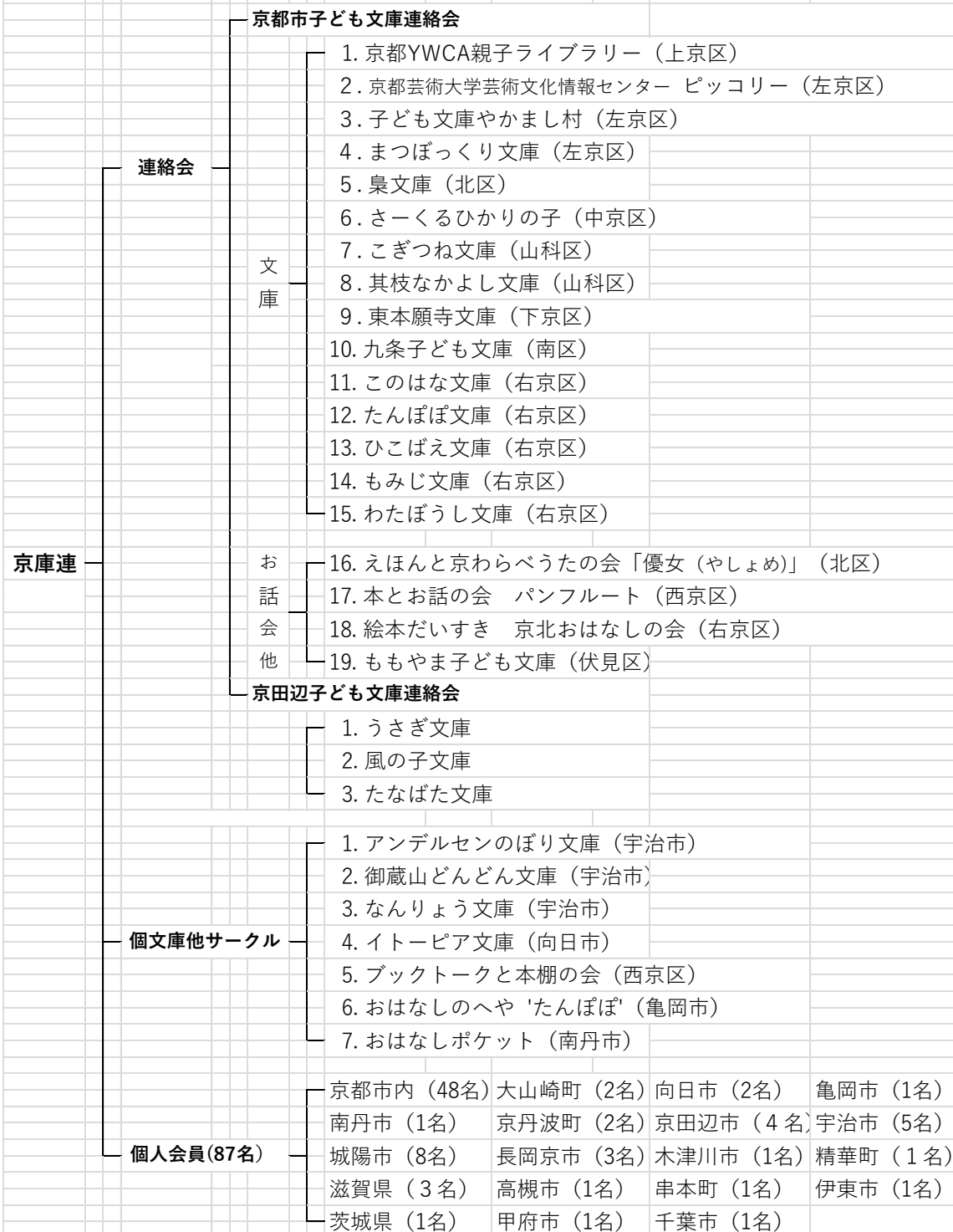
そしてその後も話し合いを続けてまいりました。社会には「個人情報保護法」があります。個人情報とは、特定の個人を識別できるものであり、住所はもちろんですが、電話番号単体が氏名と結びつけば個人情報となります。メールアドレスなども、アドレスの中に氏名などがはいつていれば、個人情報となります。京庫連は「京庫連だより」の発送など、皆さんの個人情報を集める立場にあります。が、「個人情報保護法」では、その情報を扱う側の指針が細かく提示されています。

(参考：政府広報オンライン「個人情報保護法」をわかりやすく解説 個人情報の取り扱いルールとは)

京庫連は皆さんの個人情報を集めざるをえませんが、皆さんの知りえた個人情報を守らなければなりません。そこで個人の特定につながる名簿は廃止することになりました。しかしどの地区にどのような文庫がある、あるいは個人会員がおられるという組織図にかえて、交流の手掛かりにして頂けたらと考えました。実際に交流の必要が生じた方は、京庫連代表に連絡をとって頂き、代表はお教える前に、ご本人に確認をとってからお知らせいたします。

以上名簿を廃止し、組織図の形でお届けすることになった経緯です。組織図【サンプル】を掲載いたしました。それを参考に皆さんの組織図に関する議案の承認・否認をお伺いします。

京庫連 会員組織図【サンプル】



会員相互の連絡方法は、京庫連代表までお問合せください。



# 「市庫連の運営スリム化（案）＝京庫連との一本化について」

市庫連代表 後藤由美子

## 〈経過〉

発足以来、多くの文庫が集い、各自治体ごとに連絡会が結成されていたところに比べ、現在連絡会は、京田辺市と京都市にしかありません。今、京庫連の運営委員会は、二つの連絡会と、個人会員や文庫の有志で運営を担っています。

一方、京都市子ども文庫連絡会（市庫連）も同じように、市内部の文庫や個人会員で構成する運営委員会を持ち、活動してきましたが、近年運営委員の担い手が減少し、二つの運営委員を兼ねるメンバーもあり、事務的にも煩雑、負担も大きかったため、2022年度に市庫連運営のスリム化を検討してきました。

## 〈その内容〉

\*市庫連は個人会員を持たず、文庫・お話し会などの団体の連絡会とする。

個人会員はすべて京庫連の個人会員となる。

（市庫連だけの会員だった個人会員は、2023年度を京庫連への移行期間とする）

\*運営委員会、講演会などの事業を一本化する。

\*会報を、『京庫連だより』に一本化する。

\*財政 市庫連は会費を徴収せず、会費は京庫連に納まる。文庫・個人全て 3000円とする。

## 〈生まれると思われるメリット〉

\*運営委員会が一本化されるだけで、京庫連会員にとってはほぼ変わることはない。

\*運営体制がシンプルになるので、運営委員にもなってもらいやすいのではないかな。

\*市庫連個人会員が継続して京庫連に入会した場合（自由意志）、会員も増える。

このような形で、より活動しやすく、今後も長く続けていけるようにと市庫連の運営をシンプルにしました。市庫連だけでなく、京庫連にとっても持続可能と考えました。市庫連総会（4/26）で承認を受けることが出来たら、実施していきたいと考えています。